



株式会社 郵便

〒151-8502

渋谷区千駄ヶ谷1-20-6

FAX (0120)779-783

TEL (0120)025-315(自動車保険)

(0120)025-375(総合保険)

(0120)025-915(がん保険)

(0120)221-220(医療共済)

この時期に多い「ゲリラ豪雨」への対策をしましょう!

「ゲリラ豪雨」とは、気候変動などの影響により、狭い範囲に短時間で猛烈に雨が降る現象です。実は、「ゲリラ豪雨」はマスコミなどで使われる言葉で、正式な気象用語ではありません。気象庁では雨量に応じて『集中豪雨』『局地的大雨』『短時間強雨』などの用語を使い分けています。今回は「ゲリラ豪雨」の対策をご紹介します。



「ゲリラ豪雨」が発生したらどうなる?

局地的な大雨が発生した場合、降った雨が一気に低い場所へと流れ込むため、数十分で甚大な被害が発生する恐れがあります。例えば「河川の増水により床上浸水する」「地下街・地下鉄駅に雨水が流れ込む」「地下空間へ閉じ込められる」など。とくに都市部では、下水の処理量を超えた大量の雨水が地下街や低い場所に流れ込み、被害も甚大なものになりやすいので注意が必要です。



「ゲリラ豪雨」が発生するときの特徴は?

「ゲリラ豪雨」が発生するときの特徴は、『真っ黒い雲が近づき、周囲が急に暗くなる』『冷たい風が吹き出す』『雷鳴が聞こえたり、雷光が見えたりする』などがあげられます。「ゲリラ豪雨」を予測するアプリも登場していますので、外出先でも最新の天気予報をチェックするよう心がけ、ゲリラ豪雨への対策を行いましょう。



「ゲリラ豪雨」への備えは?

「ゲリラ豪雨」は突然やってくるので、事前の対策と備えがとても重要です。事前対策として、地域のハザードマップで危険地域を確認し、家族で避難場所と避難経路を確認し合うことが大切です。また、建物への影響や被害にあった場合のチェックポイントを確認しておきましょう。



チェックポイント

- ・トタンのめくれや、瓦のずれ、雨漏りはないか。
- ・雨どいにゴミが詰まってないか。
- ・道路の側溝を植木鉢や踏み板などで塞いでないか。
- ・崖、擁壁に異変はないか。



被害にあった際にあれば便利な備品は?

「ゲリラ豪雨」の被害にあった際に、備えておくと便利な備品があります。代表的なものは『懐中電灯やろうソク』『飲料水、生活用水の数日分』『土のう袋や給水土のう袋』など。また、『ブルーシートや雨具』などの防水備品や増水やアンダーパスなどで車が水没する危機に備えた「脱出ハンマー(車内装備)」などもあります。



「ゲリラ豪雨」が発生すると、河川の水が増え、排水が追いつかなくなり、思わぬ浸水被害に遭うことがあります。都市部のようにコンクリートに覆われている地域や地下などの窪みにも注意が必要です。突然やってくる「ゲリラ豪雨」の特徴と対策さえ知っていれば、冷静に行動することができます。空や川の変化に注意し、危険を感じたらすぐに避難しましょう。

8月の安全運転のポイント



違法駐車は、交通渋滞や緊急自動車の通行を妨げる要因となるだけでなく、道路の見通しを悪化させ、飛び出しなどによる事故の要因ともなります。今回は、駐停車の禁止場所や駐停車の方法など、駐停車に関するルールをまとめてみました。



駐車と停車の定義

▶ 駐車

駐車とは、次の二つの場合をいいます。

- ①客待ち、荷待ち、貨物の積卸し、故障その他の理由により継続的に停止すること。（貨物の積卸しのための停止で5分を超えない時間内のものと人の乗降のための停止は除きます。）
- ②運転者が車を離れていて、直ちに運転することができない状態にあること。

▶ 停車

停車とは、車が停止状態にある場合で、駐車以外のものをいいます。例えば、人の乗降のための停止は、停車になります。

※赤信号での停止や交通渋滞で停止する場合は一時停止となり、駐車や停車には該当しません。



駐車や停車が禁止されている場所

▶ 駐停車が禁止されている場所

- ・駐停車禁止の標識、標示のある場所
- ・軌道敷内
- ・坂の頂上付近やこう配の急な坂
- ・トンネル
- ・交差点とその端から5m以内
- ・道路のまがり角から5m以内
- ・横断歩道、自転車横断帯とその端から前後5m以内
- ・踏切とその端から前後10m以内
- ・安全地帯の左側とその前後10m以内
- ・バス、路面電車の停留所の標示板(柱)から10m以内（運行時間中に限る。）

▶ 駐車が禁止されている場所

- ・駐車禁止の標識、標示のある場所
- ・駐車場や車庫などの自動車専用の出入口から3m以内
- ・道路工事の区域の端から5m以内
- ・消防用機械器具の置き場、消防用防火水そう、これらの道路に接する出入口から5m以内
- ・消火栓、指定消防水利の標識、消防用防火水そうの取り入れ口から5m以内
- ・火災報知器から1m以内

※引越しなどのやむを得ない事情があり、警察署長の許可を受けた場合には、駐車禁止場所であっても駐車することができます。

駐車可などの標識のある場所

駐停車禁止場所や駐車禁止場所であっても、右の標識のある場所では駐停車することができます。

【駐車可】



【停車可】



夜間における一般道路での駐停車

夜間に一般道路に駐停車するときは、非常点滅表示灯、駐車灯、尾灯のいずれかをつけなければなりません。



駐車・停車の方法

駐停車する場合は、歩道や路側帯の有無など道路状況に応じて、駐停車の方法が定められています。

- ①歩道や路側帯のない道路では、道路の左端に沿います。
- ②歩道のある道路では、車道の左端に沿います。
- ③路側帯のある道路で路側帯の幅が0.75メートル以下の場合は、車道の左端に沿います（図1）。
- ④路側帯のある道路で路側帯の幅が0.75メートルを超える場合は、路側帯に入ることができますが、車の左側に歩行者の通行のため0.75メートル以上の余地をあげておく必要があります（図1）。
- ⑤路側帯の幅が0.75メートルを超える場合でも、実線と破線の路側帯（駐停車禁止路側帯）や二本の実線の路側帯（歩行者用路側帯）のあるところでは、路側帯の中に入ることはいけません（図2）。



図1 路側帯のある道路での駐車

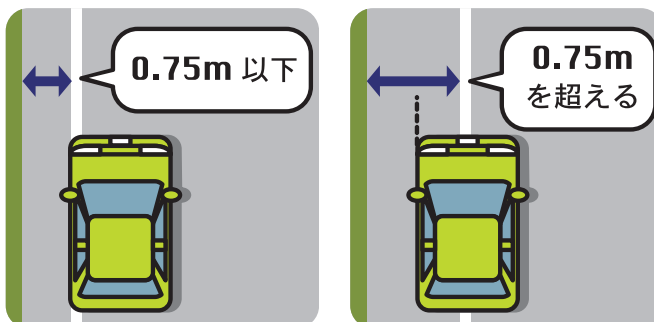
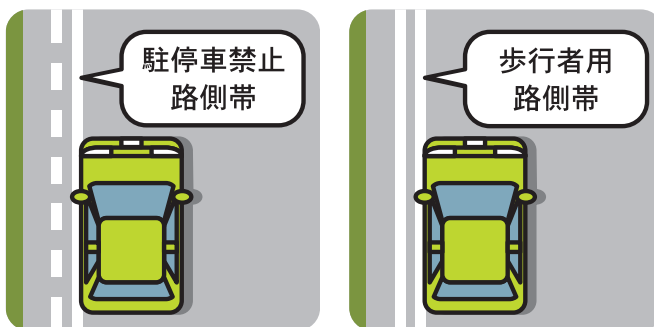


図2 駐停車禁止路側帯等での駐車

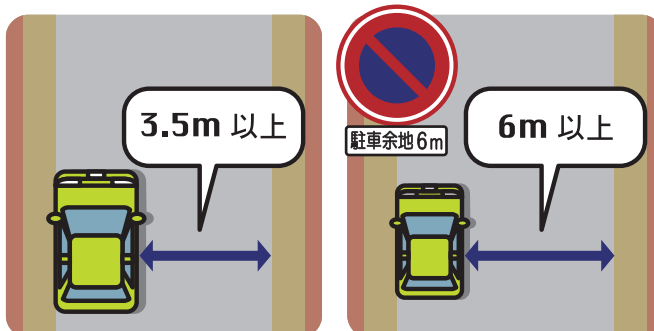


無余地駐車の禁止

駐車した場合に、車の右側の道路上に、3.5m以上の余地がない場所では駐車できません。また、標識により余地が指定されている場所では、その余地がとれない場所では駐車できません（図3）。

ただし、荷物の積卸しで運転者がすぐに運転できる状態にあるときや、傷病者の救護のためにやむを得ないときは駐車することができます。

図3 無余地駐車の禁止



高速道路での駐停車

高速道路は駐停車禁止が原則ですが、危険防止のためや故障などのやむを得ない事情のある場合は、十分な幅員のある路側帯（路肩）に駐停車することができます。

高速道路は歩行者の通行は禁止されているため、路側帯に入って道路の左端に沿って駐停車します。

駐停車する場合には、昼間は車の後方に停止表示器材を置き、夜間は停止表示器材を置くとともに、非常点滅表示灯、駐車灯、尾灯のいずれかをつけなければなりません。

真夏の暑さを払う「暑気払い」の本当の意味は？

暑さが最高潮を迎えるこの時期、仲間や会社の人から『暑気払い』に行こう』と誘われることもあります。一般的に「暑気払い」は、漠然と『暑さを乗り切るため』と思っている方も多いと思いますが、本当の意味、ご存知ですか？

「暑気払い」の意味は？

暑さが続くと、食欲が衰える、疲れやすくなるなど、体が弱ってきます。「暑気払い」とは、体に溜まった熱気を取り除くことですが、『気』の文字を使うことで、暑さや熱そのものに加え、弱った気（エネルギー）を元に戻して元気になるという考えもあったようです。昔は、食べ物や飲み物で体の熱を冷ましたり、海や川に入って暑さを凌いだり、漢方を使って体の熱気を取ったりしていました。



「暑気払い」の時期は明確に決まっていない？

「暑気払い」の時期は明確に決まっているわけではありませんが、目安となるのが旧暦の二十四節気の夏至（6月21日頃）～処暑（8月23日頃）の間だと思われます。ところが、最近の異常気象下では、処暑が過ぎても猛暑が続くため、処暑の後の時期でも「暑気払い」がしたくなるかもしれませんね。

「暑気払い」の代表的な食べ物は？

「暑気払い」に良い食べ物として『瓜』があります。瓜類の西瓜（すいか）、胡瓜（きゅうり）、苦瓜（にがうり＝ゴーヤ）などは夏の旬の食べ物です。西瓜や胡瓜は体の熱を下げ、利尿作用で余分な水分を出してくれます。苦瓜はビタミンCが豊富で、夏バテ防止にぴったりです。瓜類のほかにも、『ウナギや梅干し』などの食材が、暑気あたりしないための代表的な食べ物とされています。

夏の暑さが続く8月、暑気あたりを和らげる食べ物や飲み物で、健康に乗り切りましょう！

お盆の風物詩、「盆踊り」の由来は？

お盆の季節の風物詩と言えば、「盆踊り」があります。なぜ「盆踊り」をするようになったのか、その由来や意味を知れば、楽しさと切なさが交錯する「盆踊り」の醍醐味がわかってきます。お盆のクライマックスでもある「盆踊り」をもっと楽しんでみませんか。

「盆踊り」は、お盆に迎えた祖霊を供養する行事？

「盆踊り」は、お盆にかえてきた祖霊を慰める霊鎮め（たましずめ）の行事です。その由来は、平安時代に空也上人が始め、鎌倉時代には一遍上人が全国に広げた「踊り念仏」（念仏に力点をおく）と伝えられます。それが、室町時代から江戸時代にかけて各地の民間習俗を取り入れた「念仏踊り」（踊りに力点をおく）に発展し、盂蘭盆会（うらぼんえ＝お盆）と結びついて、精霊を慰め送り出す行事になりました。多くの地域で15日の晩に盆踊りをし、16日に精霊送りをするのもそのためです。

人の交流や地域の結びつきを深める意味もある。

「盆踊り」には、地域の結びつきを深めたり、お盆に帰省した人々の再会の場になったり、男女の出会いの場など娯楽的な要素もありました。本来、盆踊りの晩（旧暦7月15日）は満月なので、照明のない時代でも明るく過ごせるため、盆踊りに最適だったのです。

「盆踊り」には楽しさと切なさがある。

「盆踊り」は、祖霊になった人々との別れを惜しむ踊りであり、過ぎ行く夏を惜しむ踊りでもあります。子ども達は無邪気にはしゃぎ、大人達は様々な思いを胸に踊ります。そのためでしょうか、楽しいだけでなく、なぜか切なさを感じますね。

「盆踊り」は、お盆の締めくくりになくてはならない行事となっています。家族揃って参加してみたいのではないでしょうか。帰省先はもとより、旅先などでも、その土地ならではの風情にひたって踊りましょう！